

自転車活用推進計画とまちづくり

自転車を活用したまちづくり

2021.0208

自転車が
笑顔を作る
まちづくり



Cycle
Smile
JAPAN

一般社団法人日本パラサイクリング連盟 権丈泰巳

自己紹介

福岡県福岡市出身、いわき市在住48歳

日本パラサイクリング連盟 専務理事 ナショナルチーム監督

大学1年時に視覚障がい者の方をタンDEM自転車に乗せたことが障がい者スポーツとの出会い

2003年よりナショナルチームのコーチ、2012年法人化に伴い理事長就任

年間5～6ヶ所ほど自転車文化が進んでいるヨーロッパなどに遠征に行く機会があり、自転車を活用したまちづくりに興味をもつ

2019年5月自転車を活用したまちづくりを行うためにいわき市に転居

2021年4月より（仮称）いわきスポーツ・サイクルツーリズム推進協議会を設立し、本格的に活動開始予定

同時に全国で障がい者と健常者が一緒に自転車を楽しめるイベントを実施予定

最終的な目標は、**いつでも、だれでも、どこでも 自転車に乗れるまちづくり**

今回は、サイクリングコース作成や市役所の人たちとの打ち合わせなどから感じたことを話させていただきたい

パラサイクリングとは



トライシクル
脳性麻痺など

ハンドサイクル
足の切断や麻痺
通常は車いすで生活する方が多い



タンデム
視覚障害



通常の自転車
手足の機能障害や麻痺など

いわき市でやりたいことの例

自転車

観光+福祉

スポーツ+福祉

健康+福祉

福祉には
障がい者
高齢者を含む
分けて考えない

バリアフリー都市
ハード&ソフト

地域経済の発展

まずは、市民にも楽しめるものを

観光

七浜海道を活用したサイクルツーリズム

障がい者にも優しいサイクリングコースの作成

サイクルステーションの運営

サイクリングイベントの実施、競輪場の活用

サイクルショップ、情報発信ショップの設置

インバウンドサイクリスト+国内にいる外国人の獲得

早い時期に自転車を自由に乗り慣れること

スポーツ

サイクリングクラブの設立

サイクリングアカデミーの設立

高校・大学・実業団、パラスポーツなどの合宿誘致

他競技（いわきFCなど）に向けたクロストレーニング

国際大会、国内大会の開催 ※パラスポーツ含む

しょうがいスポーツ課の設置（しょうがい＋生涯）

健康

初心者サイクリング教室

企業向け健康づくりサイクリング講座

障がい者、高齢者を対象としたサイクリング教室

小学校での安全教室、ヘルメット着用の呼びかけ

自転車を使った遊び場の提供

自転車のチカラで元気な障がい者を作る



実は、聴覚障害の方も音の情報が無い
ため自転車に乗らない方が多い

皆が一緒に楽しめる自転車



知的障害の方も自転車を楽しめる

いわき市で実行すること

- 国の進める「自転車活用推進計画」を理解し、いわき市にあてはめ実行していくこと
- 市役所の中に「自転車活用推進室」を設置し、横のつながりを強化すること
- 市役所に「しょうがいスポーツ課」を設置（しょうがい＝障害＋生涯）
- 国、福島県、周辺地域、民間企業との連携すること
 - ex.七浜海道の拠点とするため、潮目交流館に自転車ショップを誘致するなど
- 小中高と車を運転する前の段階で自転車の安全教室を徹底すること
- ごちゃまぜな社会を目指すこと
- SDGsをもっともっと身近にし、「自分ごと」にすること

自転車活用推進計画を地方でより有効的に進めていくためには

- 「自転車活用推進計画」が地方では、観光課、スポーツ振興課、土木課など振り分けられ機能していない
 - 市町村に「自転車活用推進室」などを設置し、自転車のことを取りまとめる部署が必要である
自転車推進計画で縦割りの社会組織をなくすことができる
- 観光（サイクリスト）のための道路整備が優先され、生活用道路の整備が遅れている
 - 生活用道路の整備を行うことで市民の方が生活の中でもっと安心・安全に自転車に乗れるようにする
- 自転車は自動車の敵である
 - 自転車と自動車が共存できるように小、中、高校生までに自転車教室を何度も実施し、その子供たちが車のハンドルを握る年齢になった時には自転車と共存できるような人間を育てる

障がい者の方と自転車について

- タンDEM自転車が全国で走行可能になれば

- タンDEM自転車は視覚障がい者だけではなく、脳性麻痺や自分で自転車に乗れない人にも自転車を楽しむことができるツール
タンDEMタクシーや観光地の人力車の代わりにタンDEMを活用する、障がい者、高齢者の生活の幅が広がる
タンDEMは人と人を繋げるコミュニケーションツール、海外では夫婦、カップル、親子でのタンDEMでサイクリングを楽しむことも多い

- 車いすの人がスムーズに移動できる道路整備

- 車いすに優しい道路整備ができれば、子供、高齢者、障がい者などすべての人にやさしい道路整備となる

- 特殊自転車の開発

- 誰でも購入できる価格で安心安全な自転車の開発をおこなう
タンDEM、トライシクル、ハンドサイクル、ハンドサイクルアタッチメントなど40万円以上
Made in Japan がほとんどない

